



観・錬・恕

塩尻市立塩尻西部中学校
学校だより

令和7年7月18日 発行
＜文責 教頭 両角 穂＞

各学年 活動・行事の様子 ～1学期を振り返って～



各クラスの願いを込めて、キャンプファイヤーに点火

【1学年 高遠キャンプ】

1学年では、7月1日・2日の2日間、高遠少年自然の家でキャンプを行いました。スローガンを「キャンプを通して、決まりや時間を守りみんなとの仲を深めよう!」とし、様々な活動に取り組みました。1日目は午前中からオリエンテーリングを行い森の中を歩き回りました。午後は、飯盒炊きでカレー作りをし、夕食後にはキャンプファイヤーを行いました。雷が近づいてきたこともあり、点火後はプレイホールに移動してレクを楽しみました。2日目は、SUWA ガラスの里でガラスに絵付けをするリウター体験をし、その後高島城を見学しました。

帰校後、バスから降りる生徒たちの表情は、満足感と達成感にあふれていました。一人ひとりの良さや成長がたくさん見られた2日間、学年の仲もさらに深まった2日間となりました。



「はたらくこと」について、たくさん学びました

【2学年 職場体験学習】

2学年では、「地域で働き、地域に生きる人たちとの出会いを通して、その方たちの思いや願いにふれ、自己の生き方にかかわる課題を見つける」ことを目的に、キャリア学習に取り組んでいます。6月20日には、実際にこの地域で働く方々を学校にお招きし、「はたらく」ことに対する思いや価値観についてインタビューをしました。そこで感じた思いや価値観をさらに深めるために、自分の興味のある職種を選び、全52事業所に分かれて職場体験学習を行いました。実際に「はたらく」ことを体験した生徒たちは、「やりがい」と「大変さ」を肌で実感し、「はたらく人の思い」や「はたらくことの意味」をさらに考える様子が見られました。人と出会い、人の思いにふれることを通して、将来の自分について、広く深く考えるきっかけとなる2日間でした。

「はたらく人の思い」や「はたらくことの意味」をさらに考える様子が見られました。人と出会い、人の思いにふれることを通して、将来の自分について、広く深く考えるきっかけとなる2日間でした。

【3学年 進路講話】

東京都市大学塩尻高校の副校長、青木弘泰先生を講師にお招きし、進路講話を行いました。進路講話では、都市大塩尻高校の特色や進路選択をするときに大切にしていきたいことなどを聞くことができました。進路選択やその実現に向けて、具体的に考えるきっかけとなりました。

～生徒の感想～

- 今日のお話を聞いて、学校の選び方などについて確認することができたので、しっかり高校選びに生かしていけるようにしたいです。そして、今日聞いた高校が求めている理想の生徒像に、できるだけ近づけるようにしたいです。
- 受験勉強をやる上で、自分が集中してできる環境を整え、気を引き締めていきたいです。夏休みが始まる前に、今から真剣に向き合っていけるようにしたいです。
- やるべきことをしっかりやったり、何事にも逃げてはいけないということを改めて感じました。また、高校の様子を聞いて、楽しそうだなと思ったし、興味をもちました。

地域の皆様に支えられて

◆6月14日(土)に、学校支援ボランティアの方々による草刈り作業が行われました。雨が心配される中でしたが、晴天に恵まれ、多くのボランティアの方々にご参加いただき、校地内や通学路に茂った多くの草を、あっという間に片づけていただきました。クマの出没情報もあった中、生徒の安心・安全のために汗を流していただいた方々に感謝です。ありがとうございました。



◆7月9日(水)の朝読書の時間に、読書活動支援ボランティアの方々による第1回目の読み聞かせが行われました。全クラスに一人ずつボランティアの方々が入り、おすすめの1冊を様々な工夫を凝らしながら読み聞かせをしていただきました。生徒たちは、普段手にとることのないような本に触れ、その世界に惹き込まれていきました。ボランティアの皆さん、すてきな朝の一時をありがとうございました。

人権について学びました ～前期人権教育月間を通して～

塩尻西部中学校では、6月を人権教育月間として位置づけ、全校で人権について学びました。6日(金)には、講師に武井美千代さんをお招きし、人権講演会が行われました。息子さんと自身が経験した「いじめ」について、苦しみや辛さ等、我々には計り知ることのできない思いを語っていただきました。その講演会のお話を基に、全校でいじめのない社会や学校、学年、クラスを目指し、1学年では「いじめ」と「いじり」の違いについて考えました。2学年では、仲間の良さに目を向けながら、クラスにとって大切な人とはどのような人なのかを考えました。3学年では、「世界がもし100人の村だったら」や「世界人権宣言」を読むことを通して、より良い人間関係について考えました。

27日(金)には人権教育月間のまとめとして、校長講話が行われました。これまでの人権学習を振り返りながら、「言葉には力がある。言葉は時として、刃にも、毛布にもなる。」だから、「あなたの一言が、誰かの一日を救う言葉になるかもしれない。」そして、「言葉はブーメランであり、自分に必ず帰ってくる。言葉によって信頼を得ることも無くすこともできる。言葉によって未来の自分を温めることも傷つけることもできる。」ことを学びました。そして、体育館を毛布のようなあたたかい言葉でいっぱいになろうと、自分が今まで人からかけてもらった、「毛布のようなふわふわな言葉」を全校で出し合いました。皆さんの周りには、どんなふわふわな言葉がありますか。そんな言葉があふれる学校を目指していきたいですね。

人権って、大きなテーマだけど、
—実は毎日の言葉の中にある。
それが“刃”なのか、“毛布”なのか。
**人権感覚を磨くこと
＝言葉を磨くこと**

～生徒の感想～

今日の校長講話では、心が温くなりました。最近、不安なこともあったけど、意見を共有するとき、全校のみんな、先生の気持ちを聞いて、こんなに素晴らしい人や先生がたくさんいて安心したし、ほっこりしました。私も「すごいね!」とか「頑張って!」とかふわふわ言葉をもらって自然と笑顔になれます。また、そういう場面を見かけた時も、「優しい子だな～」と思って、心が癒されます。西部中の親切をまだまだ探していきたいです。

【ホームページのご案内】

学校活動の様子は、ホームページにも随時掲載しています。下記二次元コードよりご覧いただけます。



＜お知らせ＞土日・休日・および学校閉庁日の学校への連絡について

夏季休業中、土日・休日に加えて、8月12日から8月15日までは学校閉庁日となります。

上記の期間中、学校へ緊急に連絡が必要な場合は、下記にお電話いただきますようお願いいたします。

「塩尻市役所 電話番号」(0263)52-0280(代表)

→「学校教育課」につないでいただき、用件をお話してください。

【お問い合わせ】 塩尻西部中学校 ☎54・2489 教頭 両角 穂